

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	1	学校名	奈良朱雀・奈良商工高等学校
----	---	-----	---------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	小学生ラグビー交流大会「朱雀カップ」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	大会の運営に携わることにより、主体性を育み、自己有用感を得る。
連携・協働相手	地域小学生ラグビーチーム指導者（7チーム 指導者7名 児童75名）
地域と共有している目標・課題等	異年齢集団の交流による地域の活性化
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>天候にも恵まれ、会場の本校グラウンドには、早朝から多くの小学生とその保護者及びチーム指導者が訪れ、活気にあふれた大会となった。本校生徒（ラグビー部員）はテント設営、グラウンド準備等大会運営の準備を行い、参加者の誘導もした。開会後は、各小学生チームの担当者として行動を共にし、特別チームを編成して小学生チームとの対戦もを行い、特設練習コーナーを設けて小学生ラガーの指導に携わるなど、参加者との交流を深めた。大学生や地域の中学生も特別参加するなど、まさに異年齢集団交流であった。大会は大盛況のうちに閉会となり、表彰等の後、公式戦を控えた本校ラグビー部に、参加者から熱いエールが送られた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>参加生徒は、大会運営をとおして、地域の活性化への貢献を実感することができた。一生懸命に取り組む小学生と触れ合うことにより、自己有用感をさらに高めたように見受けられた。</p> <p>感染症対策に腐心しながらの大会運営となったが、今後も地域の活性化と異校種交流の意義を大切にしながら、さらに実りある取組にしていきたい。</p>

